

【編集委員おすすめ映画・ビデオ12選】

レインマン 監督：バリー・レインマン／出演：ダスティン・ Hoffman 他

父の遺産をねらった弟が、自閉症の兄を施設から連れ出す場面の「レインマン」のポスターが、八年間ずっと我が家の次男の部屋に飾られています。彼は、希代の二枚目トム・クルーズが弟を演じているのが気に入ったようですが、友人が遊びに来て、兄の奇異な行動に目を丸くしたとしても、ダスティン・Hoffmanを指さすだけで、友人たちは理解し納得しています。また、長男のために毎年募集している、今年の「旅のパートナー」は福岡教育大の学生さん。一晩は彼の家に泊まり、友達含めてゲームをしたり居酒屋に行った由、「皆がほんとにレインマンだ！」と感動していました」との報告。初対面の人にも説明がいらぬのは、自閉症者の特徴的な状態像をみごとに演じたHoffmanのおかげと感謝しています。

さらに上映後は、「無口で引つ込み思案の自閉症児だった」（某有名歌手の発言）というような、ネクラな雰囲気や流行語的に「自閉症」と言ってみたりするマスコミの誤用や乱用も影をひそめたようですね。

アカデミー賞映画「レインマン」は、自閉症者が懸命に生きている姿を、人間味あふれた視点で描いただけでなく、わかりにくい自閉症を広く世間に理解させてくれました。ただ「ノーマライゼーション」の理念が浸透してきた今なら、結末（施設に戻る）は違っていたかもしれませぬ。ちなみに我が家の長男は、地域に生き、公務員になり、毎日ドラマチックな「レインマン」をやっています。

（明石洋子）